

A light blue map of Japan is visible in the background, showing the main islands and surrounding waters. The text is overlaid on this map.

2012春の年会 核燃料部会企画セッション

福島第一原子力発電所事故を踏 まえた核燃料分野の課題と展望

平成24年3月19日 13:00-14:30

福井大学 文京キャンパス K会場

主旨

福島第一原子力発電所は、昨年3月11日に発生した地震・津波により全交流電源喪失に至り、炉心の溶融および圧力容器の損傷を伴う極めて深刻な原子力事故となった。この事故に対し、核燃料に関する課題を検討し、また課題克服に関わる情報を発信してゆくことは、核燃料の専門家としての我々の責務であるとの認識の基に本セッションを実施する。

核燃料部会の役割

私達は事故を止められなかった！
私達は核エネルギーの価値を十二分に利用出来ていない！

- 核の持つ価値を安全に取り出すための学術の保全と発展
- そのための学術の再構築
- 分かっていることは何なのか
- 分かっていないことは何なのか
- 分かっていないことをどのように扱うのか

講演内容

1) 日本におけるシビアアクシデント研究の経緯

京都大学 杉本 純

2) 溶融燃料の形態及び特性

JAEA 永瀬 文久

3) 福島第一原子力発電所事故後の核燃料分野の役割

大阪大学 山中 伸介